下水道の役割と浸水対策

東京都下水道局 計画調整部
再構築・浸水対策推進担当課長　栗原 崇晃

下水道の基本的な役割

快適な生活環境の確保

まちを清潔に保つ



【きれいに処理された水】

汚水は下水道管を通り、水再生センターに集めて処理します

浸水の防除

浸水からまちを守る



【雨水を下水道管に集める様子】

雨水を速やかに排除し、浸水被害を防いでいます

公共用水域の水質保全

川や海をきれいに保つ

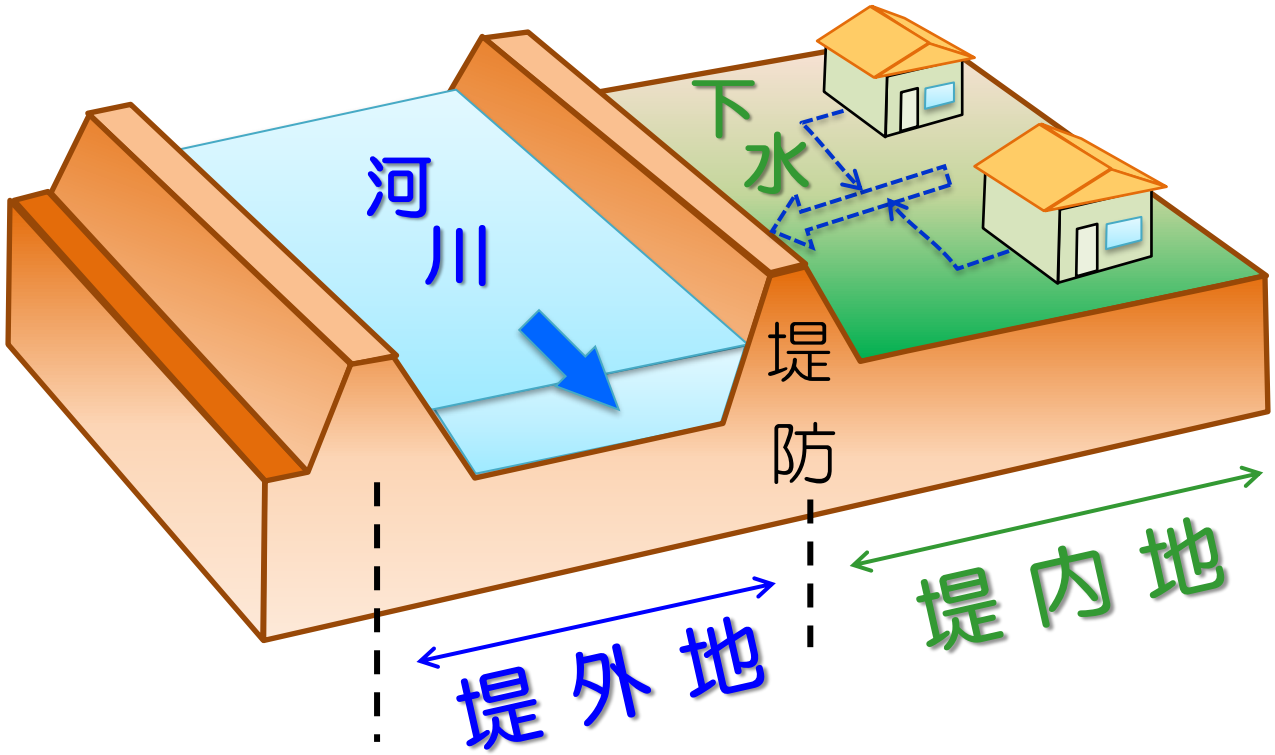


【良好な水環境】

水再生センターできれいにした水は、川や海に放流しています

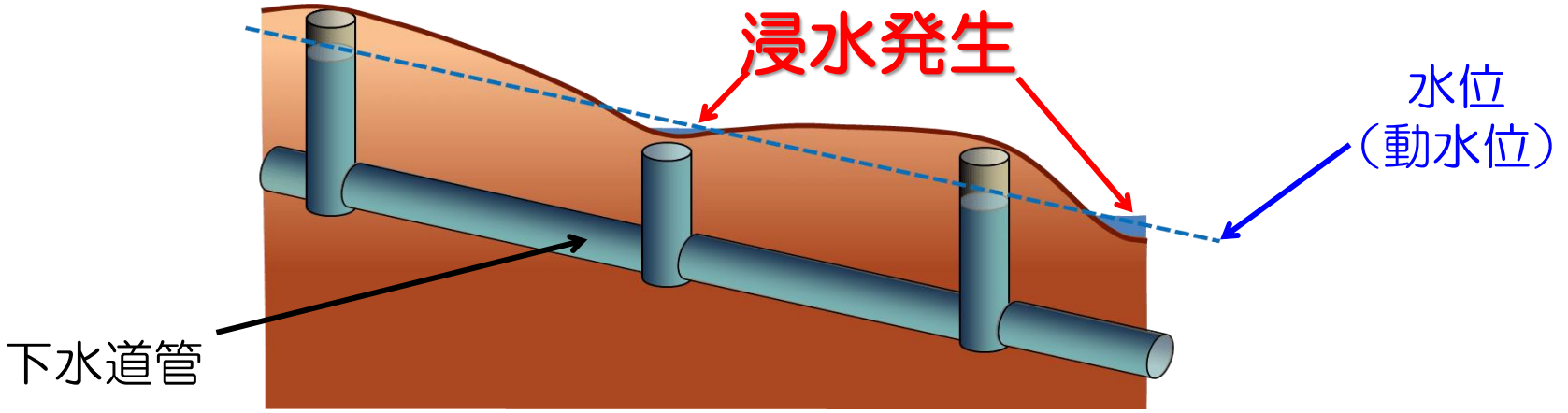
『内水』と『外水』

- 内水とは、堤防や護岸で守られた土地【**堤内地**】の水
- 外水とは、【**堤外地**を流れる】河川の水

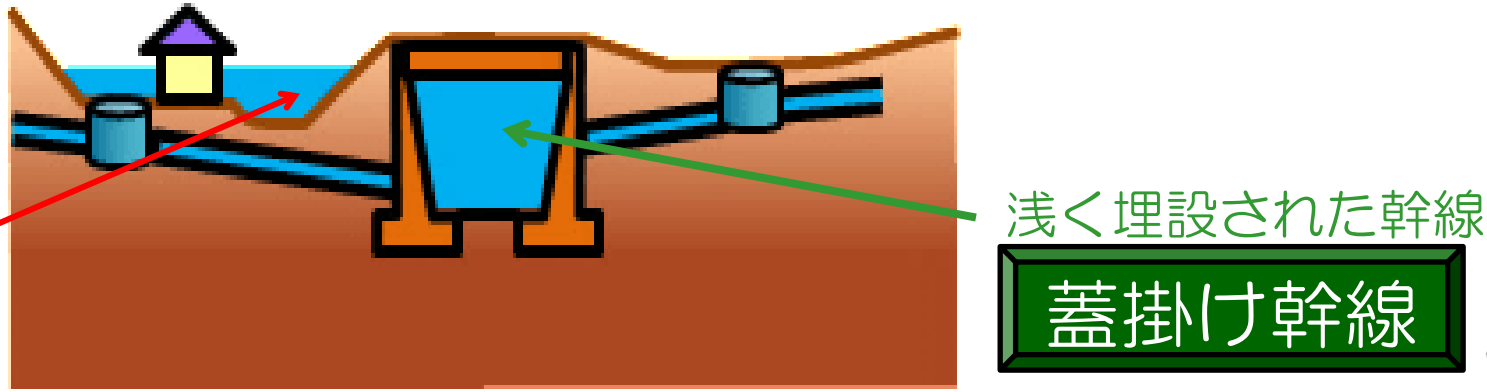


主な内水氾濫の発生要因

- 幹線内の水位が上昇し、くぼ地、坂下等で浸水

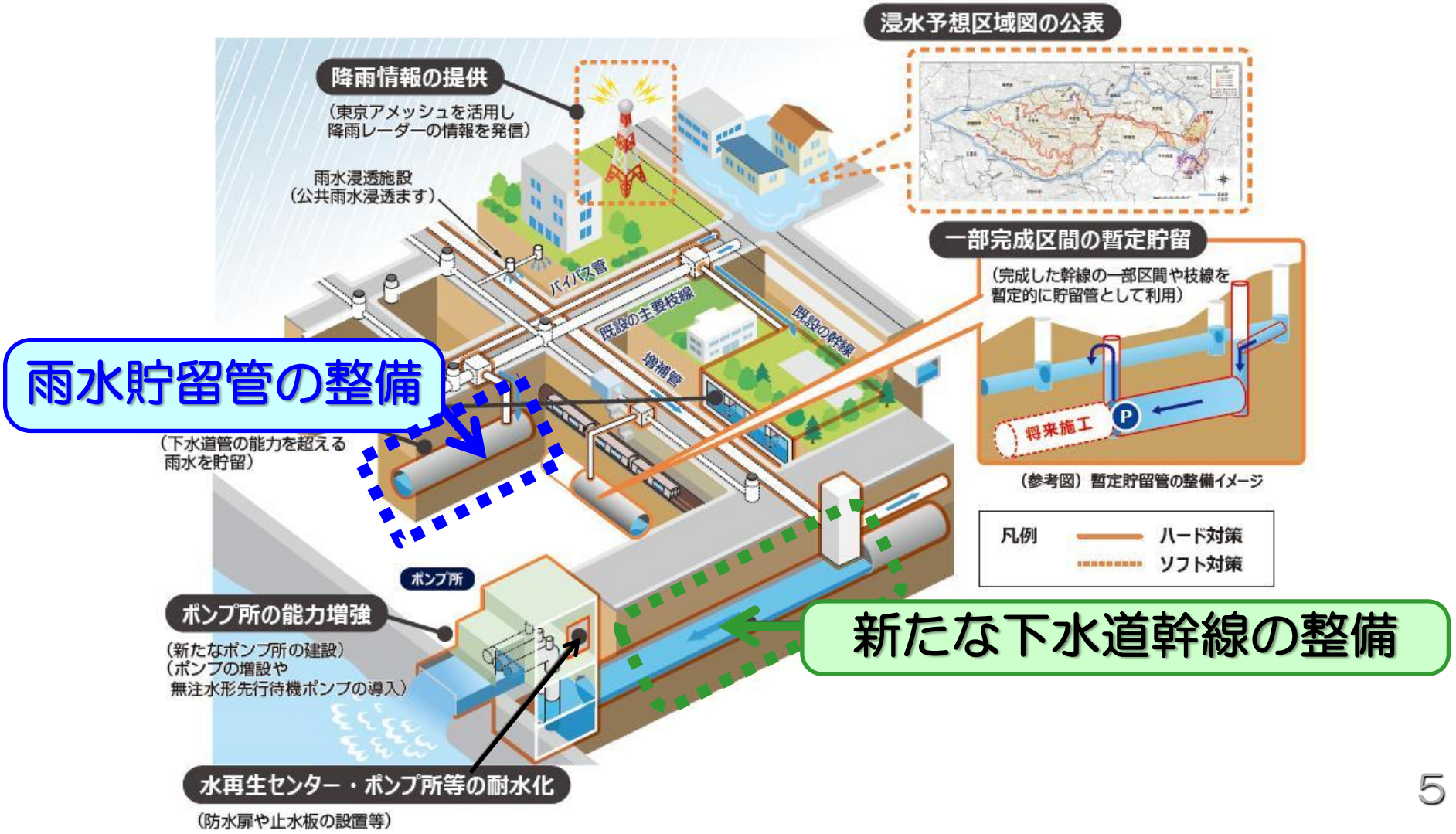


- 幹線の水位が上昇することで雨水が逆流し、地盤の低い箇所で浸水被害が発生



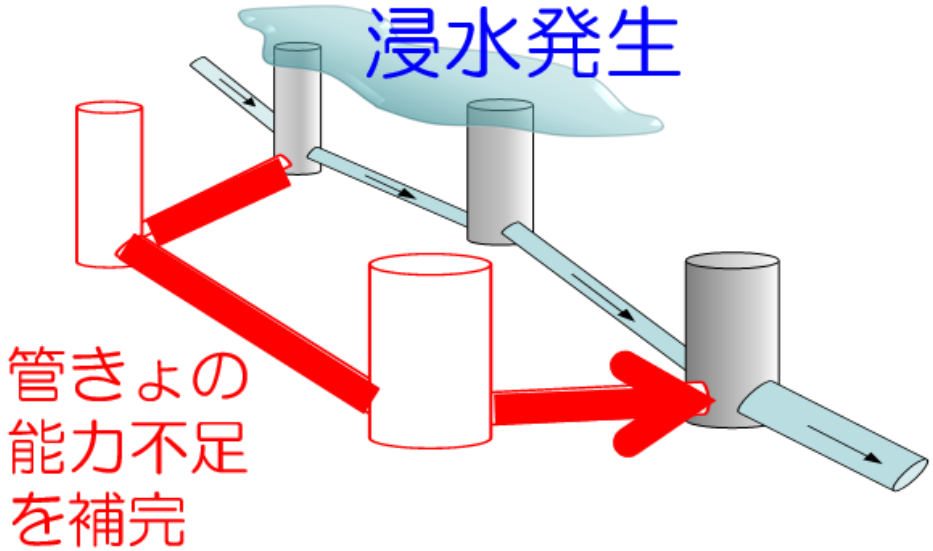
下水道による浸水対策の施設イメージ

- 浸水対策の基本は、雨水を『流す』施設
- 豪雨のピークに雨水を『貯める』ことで浸水を防止



浸水対策の取組内容【様々な取組】

- 小規模なバイパス管の設置
- 道路管理者と連携した雨水ますの増設



バイパス管の設置



道路雨水ますの増設

和田弥生幹線の整備（これまでの整備）



和田弥生幹線の整備（これまでの整備）



重点地区（令和7年度末時点）

- 浸水リスクの高い地域など対策地区を重点化して事業を実施



重点地区
全67地区

■完了
31地区

■工事着手済
20地区

■設計中
16地区

◯既に完了した地区

重点地区〈善福寺川流域〉（令和7年度末時点）

- 浸水リスクの高い地域など対策地区を重点化して事業を実施



地区名	杉並区荻窪
取組内容	大宮前幹線の増強施設

■整備済

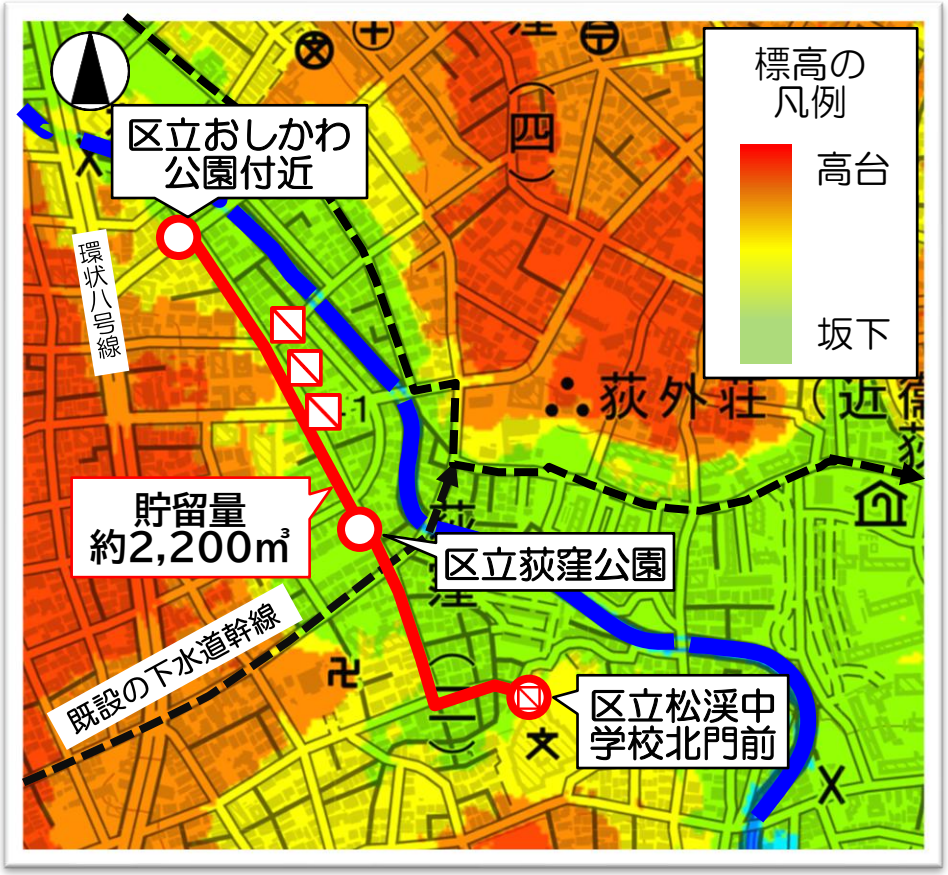
地区名	杉並区西荻南
取組内容	増強施設

■設計中

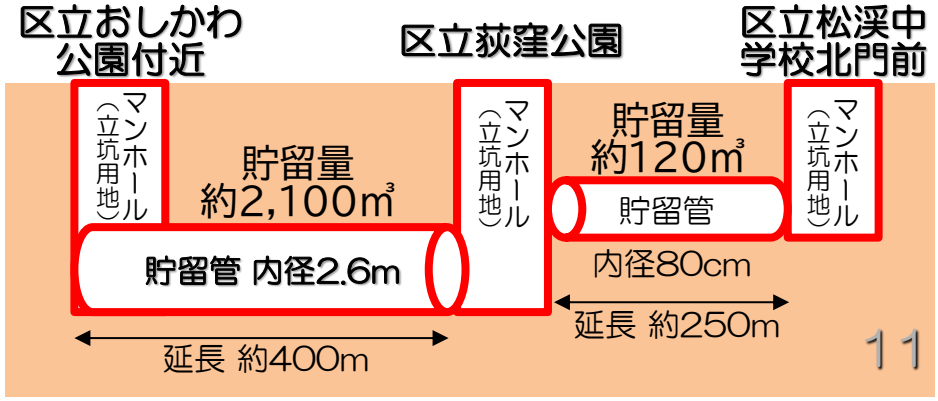
◯既に完了した地区

大宮前幹線の増強施設（令和元年度完成）

約2,200m³（25mプール約7杯分）の貯留施設を整備







下水道施設の凡例

- 既設の下水道幹線
- 増強施設
- 立坑用地
- 取水施設

自助に繋がる情報発信の充実

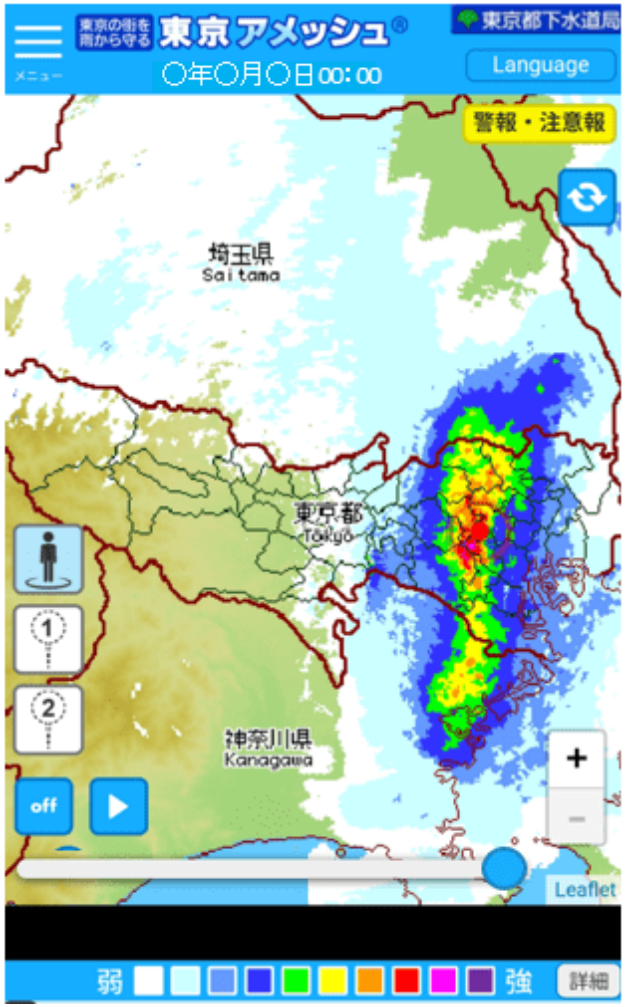
- 降雨情報システム『東京アメッシュ』

【平成２８年４月】
高精度最新型レーダーを導入
- 表示メッシュ 500m ⇒150m
- 降雨強度　　８段階 ⇒１０段階

【平成２９年４月】
スマートフォン版を配信
- GPS機能による現在地表示
- より操作しやすく、より見やすく

【令和２年３月】
多言語対応
- 日本語版・英語版に加え
  中国語版・韓国版を開設

【令和８年５月】
更新頻度の短縮
- ５分間隔から、１分間隔に短縮



日頃からできる浸水への備え











日頃からできる浸水への備え

簡易水のうと段ボール箱の併用



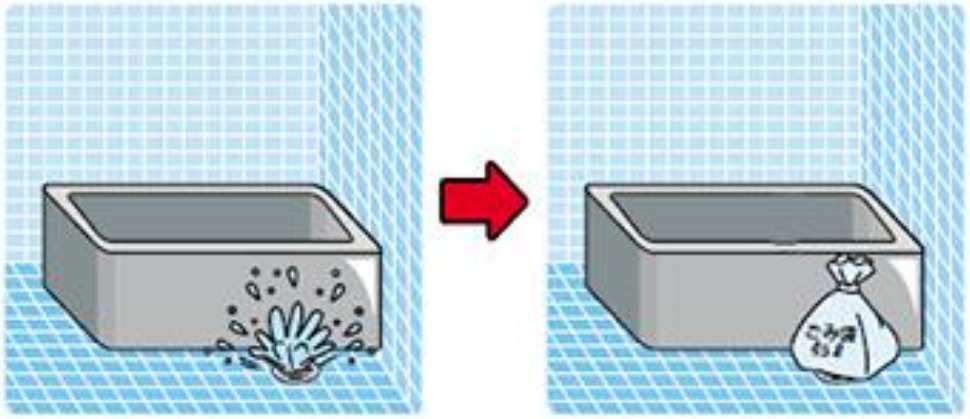
ごみ袋を利用した簡易水のう



ポリタンクをレジャーシートで巻いた水のう



簡易水のうによる逆流の抑制



ご清聴ありがとうございました



下水道局キャラクター　アースくん